

「第1回 冬の花山フェスティバル」

1. 趣旨

冬の国立花山青少年自然の家を広く県内各地の方々に開放し、大自然の中でのさまざまな活動を通して施設の理解を図るとともに、家庭教育支援の一助とする。

2. 事業の概要

(1) 期日 平成30年2月11日(日)～2月12日(月・祝)

(2) 参加者

①参加対象 家族

②参加人数 249人(宿泊:78家族 大人113人 子ども136人)

※申込人数は315人、インフルエンザ等によりキャンセルがあった。

3. 企画運営のポイント

- ①待ち時間を少なく、たくさんの家族が冬の体験活動を楽しめるように、複数のプログラムを同時に実施した。
- ②受付を全てウェブ申込にして少人数で受付管理ができるようにした。更に電話やFAXと異なり申込後の入力作業を短縮するようにした。
- ③仙台からの送迎バスを用意し、仙台近郊の家族が参加しやすい環境を整えた。

4. 日程

		13:00	14:00		17:30	19:00	22:00	
2月 11日		受付	開会式	雪上活動 ・そり・チューブすべり ・チューブボブスレー ・スノーモービル体験 ・雪像づくり ・スノーシューハイキング ・キッズパーク(幼児限定)		夕食	・入浴 ・スライムづくり ・ナイタースキー (20:30まで) ・フリータイム	就寝
	6:30	7:15	9:00	雪上活動(前日と同じプログラム)			12:00	13:00
2月 12日	起床	朝のつどい	閉会式 朝食・清掃					出発

5. 主な活動内容



「スノーモービル体験」



「スノーシューハイキング」



「雪像づくり」



「チューブボブスレー①」



「ナイタースキー」



「チューブボブスレー②」

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：64% やや満足：36% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・全体を通してとても楽しく過ごすことが出来ました。また来年も参加したいと思いました。
- ・どんどんこの様な企画をやってほしい。
- ・コインロッカーがもう少しあると良いと思います。
- ・宝探し、全員は難しいと思いますがやりたかったです。
- ・場所が分からなかった。立て看板があると親切かなと思います。

(3) 成果

- ①冬季に249人も参加者が花山を訪れた事は、今後の事業運営に活かせる成果になった。
- ②冬の活動プログラム開発の一助になった。

(4) 課題

- ①初めての実施であったため、プログラムによっては40分の待ち時間があったり、定員以上の申込になり参加出来ない家族がいたりなど、活動プログラムによって参加者に負担をかける場面があった。次年度は活動場所を時間で区切る事や、途中で幼児全員が参加できるチャレンジタイム（宝探し）を設けるなど、より全員が楽しめるプログラムを提供したい。
- ②事前に会場図はお知らせしていたが、フィールドに案内表示が無かったため、プログラム実施場所の周知が足りなかった。次年度は分帰路に案内表示を設置したい。
- ③他事業と日程が重なり、職員の配置などで意思疎通が十分に取れなかった。次年度も日程が重なる場合は、一つの事業と考え全職員体制で2つの事業を運営できるように打合せを行いたい。

担当：事業推進係長 佐藤 英樹